

コークス炉改修事業計画に係る大気・悪臭に関する意見

コークス炉の改修事業計画において、大気環境保全の観点から、次の事項を検討する必要がある。

1 今回の改修事業計画で検討すべき事項

- (1) 石炭の乾留工程で、炭化室からの悪臭、乾留ガスの漏えいを防止すること。
- (2) コークス炉のばい煙について、現状以下とすること。
- (3) 現施設の解体に伴う、一般粉じん、および特定粉じんの飛散を防止すること。

2 今後検討すべき事項

- (1) 原料の装炭工程での発塵を防止すること。
- (2) コークスの窯出し工程での発塵を防止すること。
- (3) 停電等の設備事故に際し、環境汚染物質が放出されることが無いよう、二重化処理等の措置を行うこと。